

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	運動スタジオHOUKAGO		
○保護者評価実施期間	2026年1月15日		～ 2026年3月6日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25名	(回答者数) 23名
○従業者評価実施期間	2026年1月15日		～ 2026年3月6日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 8名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月9日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	運動の強度を上げることで、しっかりと体力・筋力の向上を目指すことができる。	教室内を体育館仕様のフロアにし、シューズで活動している。体育の授業さながらの、中学・高校体育教師による本格的な指導になっている。 教室内では、スポーツ活動と宿題などの静かなゾーンをネットで分けて児童の状況に応じた対応ができるよう工夫されている。	教室内の床には、反復横跳びやサッカーのコートなどその時期に応じてラインをひいているので、バリエーションアップを図る。
2	体育教員が指導しているので、様々な身体の使い方を学習することができ、運動に対しての自信をつけることができる。	児童のモチベーションが高くなるよう、チームでの活動や応援する活動も取り入れている。	勝敗にこだわることができるメンタルも大事にし、全員が目標に少しでも近づけるようしっかりと充実した強度の高い運動プログラムを提供していきたいと思う。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	運動の強度が高いので、年齢に差がありすぎると難しい。	体格差やスピードなども差があるので、考慮している。	学年により、曜日、時間帯を分け支援している。
2	難しいと思い、参加することをあきらめたり、気分が乗らない子がいると、見学になってしまうこともある。	やってみようというモチベーションにすることの難しさ。	見本やコツを理解させ、気分が乗ってしっかりと取り組めるよう工夫する必要がある。
3	保護者同士の交流が少ない。	現状、交流会等のイベントはまだないので今後企画予定となる。	運動会等の企画もしていき、保護者同士の交流も実施していく予定となる。